別記様式第１

受理日：

提案番号：

発明等届出書

平成　　年　　月　　日

国立大学法人浜松医科大学発明委員会　委員長　殿

（代表者）所属　浜松医大の関係代表者

職名

氏名

国立大学法人浜松医科大学職務発明規程第５条第１項の規定に基づき、下記の発明等に関し、届け出ます。

記

１、発明等の名称

２、発明等の種別

　　■ 発明・考案・意匠の創作

　　□ 著作物の創作（プログラム及びデータベースの著作物）

　　□ 案出（ノウハウ）

３、共同発明者等

代表者以外の方をご記載ください。また代表者の持分を忘れずにご記入下さい。

　　　　　また、「８，」に各発明者の発明した内容を記載してください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 所属 | 職名 | 氏名 | 持分比率 |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |

（代表者持分　　　％）

４、研究経費、使用した施設・設備及びその他の支援

(1)使用した主な研究費

□　本学の研究経費（共同研究費、受託研究費、科学研究費補助金、校費、委任経理金等を含む。）を使用した。

（その具体的内容：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

□　本学の研究費を使用しない。

（本学研究費以外で使用した資金があれば、その具体的内容：　　　　　　　　　　　　　　　）

(2)使用した設備

□　本学の管理する施設・設備を利用した。

（その具体的内容：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

□　本学の管理する施設・設備を利用しない。

(3)その他に受けた支援

□　あり（具体的内容：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

□　なし

５、発明等の要旨

５－１　発明・実用新案・意匠の創作の場合

(1)従来技術・競合技術とその問題点

(できるだけ詳しく従来技術・競合技術を例示し、その課題を記入する。)

*(既存の従来技術や競合技術を引例し、何が問題となっているか記入して下さい。)*

(2)前記の解決手段(＝発明の要素)

(課題を解決するための手段（方法、装置等）を記入する。)

*(何をポイントとして前期問題点を解決したか記入して下さい。すなわち本発明のポイントとなります。)*

(3)発明の効果、技術的優位性

(本発明により得られた効果とその検証方法、従来技術・競合技術に対する優位性等を記入する。)

*(本発明の結果が、従来技術に対し、どのように優れているか記入して下さい。)*

(4)添付資料

(必要に応じて、発明の概念図、図表、実験データなどを添付する)

*(委員会の際に、委員が参考に致しますので、なるべく添附して下さい。上記文中に挿入*

*しても構いません。)*

６、発表の状況

□　未発表（発表の予定がある場合は、発表予定年月日及び発表学会名等を記載する）

（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

□　発表済（発表年月日及び発表学会名等を記載し、参考資料があれば添付する）

（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

７、その他特記事項

（緊急に出願する必要がある、外国出願希望がある等特記事項があれば、その理由と共に記載する）

（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

８、発明等の認定事項

各発明者が「何をどのように」発明したか、その役割を簡潔に記載してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 発明者等 | 内容 |
|  | 　　　　　　　　 |
|  | 　　　　　　　　 |
|  |  |
|  |  |
|  |  |

**※発明者とは、当該発明の創作行為に現実に加担した者だけを指し、単なる補助者、助言者、資金の提供者あるいは単に命令を下した者は、発明者とはなりません。**

●すなわち以下の者は、共同発明者とはなりません。

例1）部下の研究者に対して一般的管理をした者、たとえば、具体的着想を示さず単に通常のテーマを与えた者又は発明の過程において単に一般的な助言・指導を与えた者（単なる管理者）

例2）研究者の指示に従い、単にデータをまとめた者又は実験を行った者（単なる補助者）

例3）発明者に資金を提供したり、設備利用の便宜を与えることにより、発明の完成を援助した者又は委託した者（単なる後援者・委託者）